

日本医療情報学会中国四国支部 医療情報技師研修セミナー（第5回）  
－ ワークショップ：公開鍵基盤（PKI）って何？議論を通して理解しよう －

日 時：平成 22 年 8 月 1 日（日）13:00 ～ 17:00

会 場：岡山大学病院 入院棟 11 階 カンファレンスルーム C

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/koutu.html>

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/annaizu.html>

参加費：無料（要申込み：最大 30 名 医療情報技師以外の方も歓迎です）

開催概要

13:00～13:30 解説：公開鍵暗号とは？おおまかな仕組みを理解しよう。  
岡山大学病院 医療情報部 太田 吉夫

13:30～14:30 グループ討議：公開鍵暗号を社会で活用するには何が必要？  
医療分野を例に。  
3 グループに分かれて討議

14:30～14:45 休憩（コーヒータイム）

14:45～15:45 グループ別発表：15 分／グループ（質疑応答を含む）  
3 グループから発表  
総合討論（15 分）  
全員

15:45～16:00 休憩

16:00～17:00 日本における HPKI（Healthcare PKI）の現状と今後の展望  
日本医師会 総合政策研究機構 主任研究員 矢野 一博

（ワークショップの内容が若干変わることがありますので、ご了承下さい。）

参加申込：7 月 20 日までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、電子メールでお申し込み下さい。

申込先：岡山大学病院 医療情報部

E-mail: [mi@md.okayama-u.ac.jp](mailto:mi@md.okayama-u.ac.jp)

TEL: 086-235-7976、担当：合地（ごうち）

※日本医療情報学会医療情報技師（4 ポイント）取得可能です。

# 日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第6回）

（（旧）日本医療情報学会中国四国支部医療情報技師セミナー）

## 「患者情報の信憑性を阻害する要因の検証に基づく病院情報システムの再構築」

日 時：平成23年2月20日(日) 10:00-12:00

会 場：香川県高松市 サポートホール高松 51会議室

交 通：<http://www.sunport-hall.jp/shisetu/access.htm>

参加費：無料（要予約、医療情報技師以外の方も歓迎です）

※定員（36名）になりましたら申込を締め切らせていただきます。

### 【内容】

わたし達は、患者のマネジメントに供し、直接的な利益還元を目的とした利用の仕方を1次利用、それらのデータを集積し、再び日常医療に還元すると共に、新たなknowledgeの創出に利用される仕方を2次利用と称してきた。

これらの多用な目的に対して、病院情報システムは満足できるチーム医療のツールとなっているか？ システム機能と構造の、何処が、患者安全や医療の質の確保を阻害し、「信憑性」(accountability)を阻害する要因となっているか？ そして、言うまでもなく患者情報を起点とする医療情報をどうすれば活用できるか？ などについて小グループでのディスカッションを深めたい。

### 【スケジュール】

9:50～ 第6回（午前の部）受付開始

座長：広島大学病院 医療情報部 石川 澄

10:00～12:00（120分）「現在の電子カルテの問題点とその解決策を探る（仮）」

ワークショップ

問題提起：広島大学病院 医療情報部 津久間秀彦

---

※本セミナーは、科研費・基盤研究A「患者情報の信憑性を阻害する要因の検証に基づく病院情報システムの再構築」（研究代表者：石川澄（広島大学病院・医療情報部））の中間報告会を兼ねています。

# 日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第7回）

（（旧）日本医療情報学会中国四国支部医療情報技師セミナー）

「あなたの病院データ眠っていませんか？」

－ データ 2 次利用の実践：DPC データの光と影を抉る －

日 時：平成 23 年 2 月 20 日(日) 13:00-17:00

会 場：香川県高松市 サンポートホール高松 5 1 会議室

交 通：<http://www.sunport-hall.jp/shisetu/access.htm>

参加費：無料（要予約、医療情報技師以外の方も歓迎です）

※定員（36 名）になりましたら申込を締め切らせていただきます。

## 【内容】

現在、多くの病院で電子カルテ・オーダーエントリーシステムが導入され、大量の情報が電子化された状態で蓄積・利用されている。これらの診療情報については、診療・医事といった 1 次利用だけでなく、病院経営・地域連携・研究といった 2 次的な利活用も求められるようになってきた。

しかしながら、多くの場合、これらの情報は 1 次利用としての活用を目的に入力され、そのままの状態の情報システム内に蓄積されている。この為、2 次利用の際には多くの困難が存在する。また、解析方法も確立していない。

本ワークショップでは、現在多くの病院が導入し、共通の項目のデータとして蓄積している DPC データの問題点と有効な 2 次利用を中心に検討する。

まず、愛媛大学大学院医療情報学分野 教授（兼医療情報部長）石原謙 先生に「DPC の課題と問題点 －DPC 撤廃も視野に含め－」というテーマで現在の DPC が内包する根本的な問題点についてお話し頂く。続いて、それらの問題点のいくつかは DPC データ自身を使って確認できることを示し、そうしたエビデンスによって問題点の改善を医療政策に反映させてゆくことの可能性を示す。

また、そうした問題点を内包しながらも現実に得られている DPC データを、現時点でいかに有効に使うかという観点から活用方法について紹介する。

次に、将来的なデータ利用の方法として、DPC 分類から電子カルテ記載のクオリティ向上を支援する手法について紹介する。さらに、DPC 以外のデータ活用例として、今後、病院の医療の質の指標として求められることが多くなると考えられるクオリティインジケータの作成方法について実践的な説明をする。

最後に、これらの講演を総括し、2 次利用を目的としたデータベースの必要性、構築、運用について参加者全員で討論する。

## 【スケジュール】

12:50～ 第7回 (午後の部) 受付開始

座長：高知大学医学部附属医学情報センター長 奥原 義保

13:00～14:20 (80分) 「DPCの課題と問題点 –DPC撤廃も視野に含め–」

講師：愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学分野 教授 石原 謙

14:20～14:30 (10分) 「DPCの課題と問題点のエビデンス」

指定発言：高知大学医学部附属医学情報センター 奥原 義保

休憩 (10分)

14:40～15:10 (30分) 「現場でのDPCコーディングの実際とDPC分析」

講師：高知大学医学部附属病院診療情報管理室 井沖 浩美

質疑 (10分) を含む

15:10～15:40 (30分) 「DPC分類と電子カルテデータ連携による分析」

講師：高知大学医学部附属医学情報センター 畠山 豊

質疑 (10分) を含む

15:40～16:10 (30分) 「SQLで解けるクオリティーインジケータ」

講師：高知大学医学部附属医学情報センター 片岡 浩巳

質疑 (10分) を含む

休憩 (10分)

16:20～17:00 (40分) 全体討論

## 【参加申込・問い合わせ先】

2月10日までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、担当宛に電子メールでお申し込みください。

第6回 (午前)、第7回 (午後) 通しての参加、第6回のみ参加、第7回のみ参加、いずれも可能です。ただし技師ポイントは違います。お申し込みの際、どのパターンで参加をご希望かお伝えください。

担当：中島 典昭 高知大学医学部附属医学情報センター

TEL:088-880-2547

E-mail: nakajimn@kochi-u.ac.jp

※第6回・7回の両方参加：日本医療情報学会医療情報技師 (6ポイント) 取得可能。

※第6回のみ参加：日本医療情報学会医療情報技師 (2ポイント) 取得可能。

※第7回のみ参加：日本医療情報学会医療情報技師 (4ポイント) 取得可能。

## 参加申し込み

氏名 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

立場 プログラマー、SE、CE、フィールドエンジニア、  
プロジェクトリーダー、  
事務系職員、医療職 ( )  
病院のシステム管理部門のSE、CE  
その他 (具体的に )  
(不要は消してください)

電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

1. 第6回 (午前中) のみ参加 (2ポイント)
2. 第7回 (午後中) のみ参加 (4ポイント)
3. 第6回・第7回の両方とも参加 (6ポイント)

## 第8回日本医療情報学会中国四国支部セミナー

(旧 日本医療情報学会中国四国支部医療情報技師セミナー)

テーマ：がん登録を理解し支援しよう：専門医のがん登録から院内がん登録、地域がん登録まで

■日時：7月24日（日）13時30分～16時30分予定（受付開始：13時より）

■会場：山口大学医学部 総合研究棟1階S1講義室

（〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1）

■交通：JR宇部新川駅より徒歩10分 駐車場あり（別紙：山口大学小串キャンパス）

■参加費：無料（要 参加申込）

■日本医療情報学会医療情報技師ポイント：4点(予定)

（医療情報技師の方は、認定証を忘れずにお持ちください。忘れた場合には、ポイント申請ができない場合があります。）

### 【セミナー内容】

がん診療は医療機関の診療の中で最も重要な領域であり、国のがん対策上からもがん診療の質の向上を図るために地域の拠点病院を中心に登録事業（院内がん登録）が実施され、さらには罹患率や予後を把握するために県や市単位の登録事業（地域がん登録）も行われています。

がん登録の意義は理解していながらも、日常診療に忙しい医師にとって診療の中で登録書式に従って記載するのは望むものではなく、正確な情報が得にくい状況になりやすいものです。一方で、多くの医師は学会活動やがん診療の専門医としてがん取り扱い規約に則ったがん情報の登録や研究に関わる情報の蓄積に携わっています。従って、その活動の中で、新たな負担を強いることなくがん登録に関わる正確な情報を取得できるようながん診療支援および運用が望まれています。

本セミナーでは、山口大学病院で院内がん登録および地域がん登録に携わってきた担当者により、がん登録の運用の実際、開発した情報システム、そして今後の展望について講演をいただき、続いて会場との意見交換を行います。それによって、既ながん登録に関わっている方への課題解決のヒントに、また、今後のがん登録事業に関わる際に考えておくべきことの整理になることを期待しています。

### 【スケジュール】

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:30～14:10 | がん登録とは・・・その意義と概要・課題<br>井上 裕二（山口大学医学部附属病院医療情報部）       |
| 14:10～14:40 | がん登録の運用とこれまでの成果<br>田村 怜子（山口大学医学部附属病院腫瘍センターがん登録室）     |
| 14:40～15:10 | がん登録支援システム<br>吉富 由紀子（山口大学医学部附属病院医事課医療情報係）            |
| 15:10～15:30 | 休憩   |
| 15:30～16:00 | 地域におけるがん診療の向上を目指した支援のあり方<br>吉野 茂文（山口大学医学部附属病院腫瘍センター） |
| 16:00～16:30 | 総合討論   |

■共催：山口県診療情報管理研究会 九州山口診療録管理研究会 山口県がん登録研修会

■事務局：山口大学医学部附属病院医療情報部 上田、山脇

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

電話：0836-22-2716 Fax：0836-22-2718

E-Mail：[mids9@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:mids9@yamaguchi-u.ac.jp)

■参加申込：事務局宛の電子メール（下記の内容にて）、または、別紙の申込書でFaxで申し込み下さい。

電子メールでの申し込みの場合：件名：セミナー参加申し込み

本体：\*\*\*\*\*

氏名（フリガナ）・所属・連絡先（電話番号またはFAX）・メールアドレス

医療情報技師：はい/いいえ 診療情報管理士：はい/いいえ

医療技師 point 申請：はい/いいえ はいの場合、認定証番号

\*\*\*\*\*

■申込締切：7月15日（金） 但し、参加人数が190名に達した時点で締切にさせていただきます。

予め、ご了承ください。

\*\*\* アクセスマップおよび駐車場 \*\*\*





※山口大学医学部（小串キャンパス）南側の門（通常は入れないようにしております。）からお入りください。

会場は地図上の総合研究棟★1階です

第8回日本医療情報学会中国四国支部セミナー 参加申込書

Fax : 0 8 3 6 - 2 2 - 2 7 1 8

■日時：7月24日（日）13時～

■会場：山口大学医学部附属病院1階S1講義室

フリガナ

氏名： \_\_\_\_\_

所属： \_\_\_\_\_

連絡先住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_

電子メール： \_\_\_\_\_

医療情報技師：はい いいえ（どちらかにチェック）

診療情報管理士：はい いいえ（どちらかにチェック）

医療情報技師ポイント申請：はい いいえ（どちらかにチェック）

医療情報技師認定証番号： \_\_\_\_\_

**事務局用(記入不要です。)**

参加受理しました。(受理日：平成 年 月 日 担当： )

医療情報技師ポイント申請者は、認定証を忘れずにお持ちください。

## 日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第9回）

- 日 時：平成24年3月17日(土) 15:00-18:15
- 会 場：ANAクラウンプラザホテル広島 アカシア（3階）
- 交 通： JR広島駅より市内電車（1番宇品行き、約20分）袋町駅下車。徒歩1分。  
(<http://www.anacrowneplaza-hiroshima.jp/access/index.html>)
- 参加費： 無料（要申込； 会場の都合で人数を制限する場合があります）  
※日本医療情報学会医療情報技師ポイント申請中。

### ■テーマ：患者情報の信憑性を阻害する要因の検証に基づく病院情報システムの再構築

現状の電子カルテシステムは、患者安全と医療の質確保に、どのように役立っているか？ 問題があるとすれば、どのようなことにその原因があるのか？

- そのために、そもそも現在の電子カルテは、1次利用において、
  - \*患者ケアのゴールが明確になっているか？ ゴールの設定は、問題点の把握に始まり、解決の道筋がたてられているか？（物語性）
  - \*そこに至るプロセスが容易に一覧できるか？（一覧性）
  - \*医療のプロセスにおいてタイムリーにデータが入力されているか？
    - ・正しくプロセスを反映しているか？ それは、個別的には時系列で、または多角的データは関連性をもって、総合的に患者の容態の変化を反映しているか？（連続性）
  - \*そして何よりも蓄積されるデータは正確か（正確性）
- また2次利用においては、蓄積されたデータが
  - \*Clinical Evaluation に役立っているか？
  - \*蓄積されるデータは使える形で保存されているか？ 使えないとすれば、使える形のデータ保存とは？
  - \*「信憑性を持ったデータ」が集まる仕掛けが出来ているか？ 出来ていないとすれば、どこに問題があるか？

次世代電子カルテシステムの構築に資するべく、上記の観点について、文部科学省科研費基盤A「患者情報の信憑性を阻害する要因の検証に基づく病院情報システムの再構築」（研究代表者 石川澄（広島大学病院））で、“患者情報の信憑性”をキーワードに3年間検討してきました。本セミナーでは、1次利用の話題を中心に、現状の問題点の整理とこれからのあるべき方向性について討論していただきたいと思います。電子カルテを実際に使用している医療者の方、情報部門で電子カルテの企画・運用管理に携わっている病院・ベンダー関係者、その他、電子カルテにご興味をお持ちの方参加を期待します。

### ■プログラム：

- 1) 問題提起
- 2) ソリューション
- 3) 討論
- 4) まとめ

【参加申込・問い合わせ先】 (HP)

広島大学病院医療情報部 [TEL:082-257-5082](tel:082-257-5082) E-mail: [Sadok8sc@hiroshima-u.ac.jp](mailto:Sadok8sc@hiroshima-u.ac.jp) (担当：田中)

3月13日(火)までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、電子メールでお申し込みください。

※本セミナーは、上記の文部科学省科研費の成果報告会との共催です。

## 日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第10回）第2報

■日時：平成24年7月28日(土) 13:30-17:30 (13時より受付開始)

■会場：鳥取大学医学部臨床講義棟3階 講義室

■テーマ：病院情報／地域医療連携システム基盤としてのシンククライアントシステム

2008年1月より鳥取大学病院では病院情報システムの基盤としてシンククライアントシステムを導入し、2009年から地域医療連携システムの基盤にも使用しています。今回は、開発、導入、運用上のキーポイントを研修して頂き、今後の地域医療連携システムとクラウド化に関して参加者全員で討論したいと考えています。

■プログラム：（プログラム内容について追加、変更の可能性があります。）

13:30-14:00 鳥取大学医療情報部 近藤博史

「病院情報／地域医療連携システムの基盤としての有用性と医療連携の今後」

14:00-14:30 鳥取大学医療情報部 寺本 圭

「Thin-Client Computingを実装した病院情報システムを遠隔地から利用するための設計手法」

休憩

14:45-15:15 SECOM山陰 持田「地域連携システムの設計」

15:15-15:45 IBM 堀 信浩 「IBMにおける先進事例-シンククライアント、FORK, Watsonについて」

休憩

16:00-16:30 富士通 坂上 英輝「富士通の地域医療連携」

16:30-17:30 医療連携とクラウド技術に関する討論

■交通：

(<http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1798>) の⑱です。

■参加費：無料（要申込；会場の都合で人数を制限する場合があります）

※日本医療情報学会医療情報技師ポイント：3ポイント

★医療情報技師でなくても参加可能です。

【参加申込・問い合わせ先】

HP:<http://chu-shi.umin.jp/seminar.html>

鳥取大学病院医療情報部 TEL:0859-38-6892 E-mail: [kei-tera@umin.net](mailto:kei-tera@umin.net) (担当: 寺本 圭)

7月26日(木)までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、電子メールでお申し込みください。

## 日本医療情報学会中国四国支部セミナー(第11回)

■日 時：平成25年1月19日(土) 13:30-16:00 (13時より受付開始)

■会 場：香川大学医学部附属病院 地下カンファレンスルーム

■テ ー マ：近年、治験（医薬品医療機器の承認申請のための臨床試験）では EDC(Electronic Data Capturing)と呼ばれる、データ取得を電子的に行う仕組みが頻用されています。しかし、電子カルテと EDC システムが連結されているシステムはほとんどなく、二つのシステム端末を並べて、データを再入力しているのが現状です。また、紙カルテの時に、記録すべき項目が記された「シール」を貼付して、Visit（被験者の来院日）毎に必要な情報を記録する運用が行われていましたが、電子カルテになってから、これに対応する入力フォーマットである「テンプレート」の作成コストが顕在化しており、電子カルテのバージョンやベンダーを越えた統一運用の要望が高まっています。さらに、医薬品の副作用などの市販後安全情報については、医療機関から厚労省に報告が義務づけられていますが、副作用の状況を把握するためには、大量かつ詳細な情報を医療機関が提供する必要があります。

正確かつ迅速な治験の運用や安全情報の報告のためには、電子カルテに上記のような薬事での必要事項に対応する情報運用の仕組みが必要になります。本セミナーでは、医療情報システム関係者が、普段あまり触れることのない薬事系のシステムについて概観し、電子カルテ側で何ができるか、何をすべきか検討する場を提供したいと思います。

■プログラム：(プログラム内容について追加、変更の可能性あります。)

13:00-13:30 受付

13:30-14:00 講演 1

「薬事と医療情報」 横井英人（香川大学医学部附属病院 医療情報部）

14:00-15:00 講演 2

「治験のためのデータ標準化について（仮題）」 溝渕真名武（富士通株式会社）

15:00-15:15 休憩

15:15-16:00 総合討論

■アクセス：<http://www.kms.ac.jp/access/>

※時間外出入口より入出して下さい。当日は平成25年度大学入試センター試験実施に伴う試験場区域への入構制限がありますのでご注意ください。

(自家用車でお越しの場合は病院正面より入構し外来駐車場をご利用下さい)

■参加費：無料（要申込：会場の都合で人数を制限する場合があります）

※日本医療情報学会医療情報技師ポイント：3ポイント

★医療情報技師でなくても参加可能です。

■参加申込・問い合わせ先：

E-mail： [medinfo@med.kagawa-u.ac.jp](mailto:medinfo@med.kagawa-u.ac.jp)

TEL： 087-891-2382 ※なるべくメールでご連絡下さい。

香川大学医学部附属病院医療情報部 HP： <http://www.kms.ac.jp/~hospinfo/Medinfo/>

日本医療情報学会中国四国支部 HP： <http://chu-shi.umin.jp/>

平成25年1月17日(木)までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、電子メールでお申し込みください。



# 14 交通案内図



## 電車とバス利用の場合

ことでん「高松築港」駅（JR「高松」駅から徒歩5分）から長尾線に乗り、「高田」駅で下車、「高田」駅からことでんバスで5分、「大学病院」で下車  
 所要時間 約40分（料金500円）

## バス利用の場合

JR「高松」駅7番乗り場から、ことでんバス「高松医療センター・大学病院線」に乗り、「大学病院」で下車  
 所要時間 約40分（料金610円）

## タクシー利用の場合

JR「高松」駅から所要時間 約30分（料金 約3,100円）  
 高松空港から所要時間 約40分（料金 約4,000円）

## 高松自動車道利用の場合

（東方面よりお越しの場合）さぬき三木IC（高松道）より車で5分  
 （西方面よりお越しの場合）高松東IC（高松道）より車で3分

平成25年度大学入試センター試験実施に伴う  
入構制限措置について

このことについて、下記のとおり試験場区域への入構を制限しますので、御協力方よろしくお願ひします。

記

- 1 制限日時 平成25年1月18日(金) 18時から  
平成25年1月20日(日) 18時まで

ただし、制限区域内の駐車場については

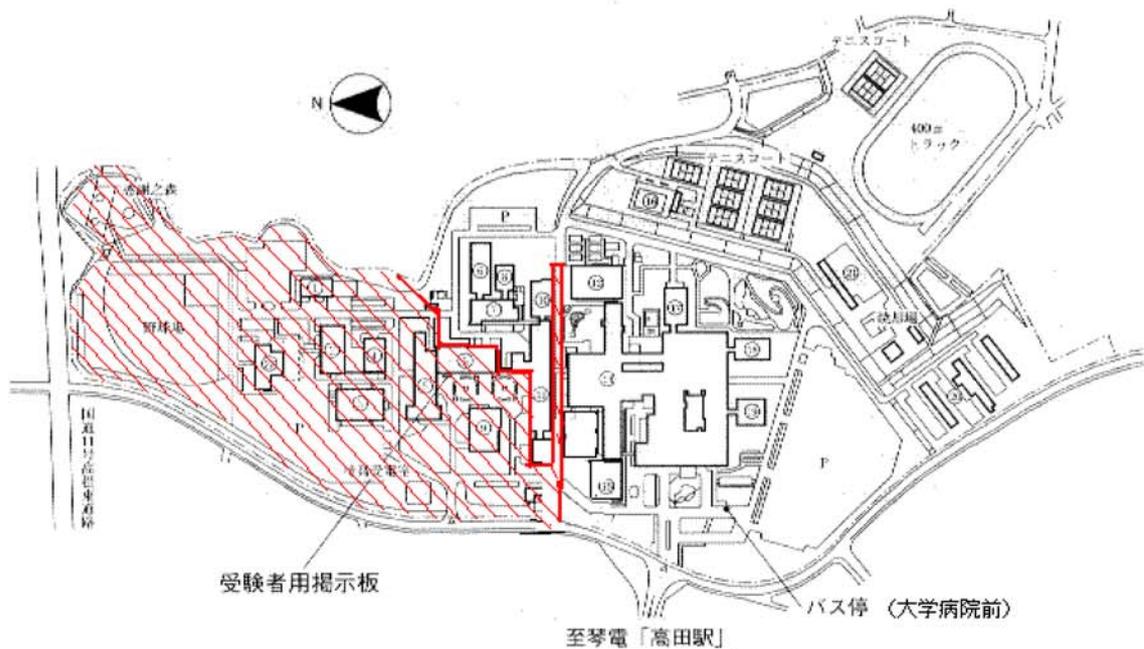
平成25年1月19日(土) 7時00分から

平成25年1月20日(日) 18時00分までとします

※上記期間中は制限区域内(駐車場を含む)には一切入れません

この期間に区域内から出庫する場合は、身分証明書を求める場合があります

- 2 制限区域 下図の  部分



日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第12回）

「DWH を利用した二次利用の実践 ～ 臨床評価指標の算出の試みと課題を探る」

■日時：平成25年10月12日（土）13:00-17:00（13:00～受付、13:30～開始）

■会場：広島大学 広仁会館（広島市南区霞一丁目2番3号）

■アクセス：<http://www.koujin-med.jp/contents/application.html>

※本案内の最後に、大学構内の地図を添付しています。

■参加費：無料（要申込、定員120名を越え多場合は締め切らせていただきます。）

※日本医療情報学会医療情報技師ポイント 4ポイント（医療情報技師以外の方も歓迎です。）

■主旨

現在、多くの病院でDPCが導入され、DWHを利用した分析が行われるようになってきました。しかしながら、DPCが内包する根本的な問題点の一つに、臨床の実態を有効に把握できず、表面的な経営的分析にとどまりやすいということが指摘されています。

そこで、臨床指標（クリニカルインディケーター）という病院の様々な機能や診療状況を数値化し、時系列的な変化を評価していくことにより、医療の質の向上に役立てようという試みがあります。

しかし、現状のDWHで臨床指標を算出できるものでしょうか。果たしてその結果は信頼できるものなのでしょうか。

本ワークショップでは、DWHとSQLを用いたクエリの基礎概念を学んで頂いたあと、実際のDWHを用いた分析事例をみて頂きます。次に臨床指標の算出の演習を通して、臨床指標に必要なデータと分析手法を理解して頂きます。このワークショップ受講後は医療情報システムとDWHに関わる問題を考察し、2次利用における運用と課題を意識して取り組むための問題意識を持って頂けるようになります。

■プログラム（現在準備中ですが、以下を予定しています。）

13:00～ セミナー会場 会場・受付開始

13:30～13:35 セミナー挨拶（石原・愛媛大学）

13:35～14:25 SQLで解ける臨床指標（畠山豊・高知大学）

- 高知大学では開院以来20年以上にわたって診療データ解析のデータウェアハウス(DWH)を構築しています。実際のデータ分析・解析を行う場合、リレーショナルデータベース(RDB)で構築されているDWHの表を組み合わせ、途中で複数の表をSQLのクエリで作成しながら必要なデータを抽出していく必要があります。そこでDWHからの情報抽出を行う場合における、クエリ構築のための思考様式や勘所を、実際に高知大学DWHでの抽出例を交えながら紹介していきます。

14:25～14:35 休憩

14:35～15:25 DWHの事例紹介（鈴木英夫・日本IBM）

- 今までは医療情報という大きなくくりで様々なシステムが開発されてきましたが、臨床研究や臨床応用にフォーカスを当てた情報システムがほとんど存在して

いませんでした。一方、病院機能評価や、専門医認定などにおいて、臨床指標や症例検索など、診療情報の利用に関するニーズが増えており、散逸した医療情報を集約できるようなしくみが必須となってきています。その状況の中で、各社のカルテシステムに依存しない、独立したデータウェアハウスを実現しましたので、その概要と、様々な効果、および具体的な臨床応用例に関して、ご説明いたします。

15:25～15:35 休憩

15:35～16:25 臨床指標の計算方法（木村映善・愛媛大学）

- 愛媛大学医学部附属病院で臨床指標を算出した時のチーム結成から分析までの具体的なプロセスを紹介していきます。臨床指標の算出にあたり、診療報酬に関するデータに依存するところがありますので、病院ごとに運用の癖を把握した上で、適切な評価ができるようにデータの選定や収集方法を検討する必要があります。当院では医事課・診療情報管理士・医療情報技師で協力して開発してきました。その時の経験を踏まえて、臨床評価のためのクエリ作成方法を紹介します。

16:25～16:45 自由質疑

16:45 閉会

#### ■推薦図書

- 1) 新版 医療情報 情報処理技術編 「データベース技術」の章
- 2) 書き込み式 SQL のドリル 改訂新版 Quality Indicator 2013: [医療の質]を測り改善する

#### ■参加申込・問い合わせ先

10月10日（木）までに、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記し、下記担当宛に電子メールでお申し込みください。

Email : chushi-medinfo@gc.m.ehime-u.ac.jp

担当 : 蒲生祥子（愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学講座）

TEL : 089-960-5695

以上

# 第 12 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー会場 ( 2013 年 10 月 12 日開催 )

## 広仁会館 (こうじんかいかん)

(広島大学霞キャンパス内) 広島市南区霞 1-2-3



公共交通機関でおこしてください。

広島大学病院アクセス地図： <http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/hiroshimadaigakubyoin/>

## 日本医療情報学会中国四国支部セミナー（第13回）

■日 時：平成25年12月14日（土） 10:30～16:00

10:30 受付開始、11:00 セミナー開始、16:00 セミナー終了（予定）

■会 場：徳島大学病院 西病棟11階 日亜メディカルホール

徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1 088-631-3111

<http://www.tokushima-hosp.jp/index.html>

■アクセス：<http://www.tokushima-hosp.jp/access.html>

（公共交通機関をご利用ください。）

■参加費：無料（要申込、定員100名を越え多場合は締め切らせていただきます。）

※日本医療情報学会医療情報技師ポイント 4ポイント（医療情報技師以外の方も歓迎です。）

■申込締切：12月12日（木）

■申込方法：

1：氏名・2：所属・3：電話番号・4：メールアドレスを、  
下記、セミナー事務局宛に、メールでお申し込みください。

【セミナー事務局】

メール：13th\_chushi\_MI@umin.ac.jp

担 当：島井・山根（徳島大学大学院 HBS 研究部医療情報学講座）

電 話：088-633-9178 FAX：088-633-9411

■内 容：

講演：個人情報を守るために

個人情報の保護に関する法律(いわゆる個人情報保護法)がH15年に制定されて以来、個人情報の漏えいなどに対する対策が求められてきた。その代表的な枠組として個人情報を含めた情報資産の情報セキュリティ対策を主とするISO27001-ISMSと個人のプライバシー権の保護を目的とするJISQ 15001(個人情報保護マネジメントシステム-P-Mark制度)が知られている。今回、この7年間のP-Mark制度の運用に基づいたリスクへの応方法などについて実例を交えて解説する。

ワークショップ：患者プロフィール情報基盤を考える

日本医療情報学会の課題研究会としても活動されている、「患者プロフィール情報基盤研究会」(<http://pt-profile.umin.jp/>)で、検討されている、いつでもどこでも適正な医療継続性が担保されるために不可欠となる患者の基本的な情報（患者プロフィール情報）について紹介し、患者プロフィールの役割、患者プロフィールに含めるべき | 方がいい情報項目、選定された情報項目を登録・管理・参照する環境をどのように整備するといいか、などをご出席いただいた方々にも参加していただき、具体的に議論します。

■プログラム：

- 10:30 セミナー会場 会場・受付開始
- 11:00-11:05 セミナー挨拶 (森口・徳島大学)
- 11:05-12:15 講演：個人情報を守るために (徳島大・森口博基)
- 12:15-13:30 お昼休憩  
※昼食はご用意しておりませんが、会場横のレストランをどうぞご利用ください。  
レストラン Sora (<http://www.sora-doremi.com/>)
- 13:30-15:30 ワークショップ：患者プロフィール情報基盤を考える  
(高知大：栗原幸男、中島典昭、徳島大：島井健一郎)
- 15:30-16:00 自由質疑
- 16:00 閉会

■問い合わせ先： セミナー事務局

メール：[13th\\_chushi\\_MI@umin.ac.jp](mailto:13th_chushi_MI@umin.ac.jp)

担当：島井・山根 (徳島大学大学院 HBS 研究部医療情報学講座)

電話：088-633-9178 FAX：088-633-9411

以上

# 第13回日本医療情報学会中国四国支部セミナー会場

徳島大学病院 西病棟 11階 日亜メディカルホール



交通アクセスはこちら: <http://www.tokushima-hosp.jp/access.html>

日本医療情報学会  
会 員 各 位

平素より大変お世話になっております。  
医療情報学会中国四国支部事務局よりご案内申し上げます。

日本医療情報学会中国四国支部では、10月19日（日）、岡山大学病院 第5カンファレンスルーム（総合診療棟5階）にて第14回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを開催いたします。

以下の通りご案内申し上げますので、奮ってご参加ください。皆様のご参加をお待ちしています。

記

※申込先は最後に記載しております。

【日 時】

平成26年10月19日（日）

9：30 受付開始、9：45 セミナー開始、13：00 終了（予定）

【開催場所】

岡山大学 総合診療棟 5階 （第5カンファレンスルーム）

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/haichizu.html>

【アクセス】

大学までは公共交通機関をご利用ください。（岡山駅から直通便あり。）

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/koutu.html>

【参加費】

無料（要申込。定員60名を超えた場合は締切といたします。）

【ポイント】

日本医療情報学会医療情報技師ポイントを、4ポイント付与。

（医療情報技師以外の方も歓迎です。）

【申込締切】

10月15日（水）

※申込方法は、最後に記載するのでご確認ください。

## 【プログラム構成】

テーマ『NCDの現状と課題：（がん登録も含めて）』

外科系関連 19 学会において現在、手術症例を対象に全国的に症例集積を行い 1. 外科関連の専門医のあり方を考えるための共通基盤の構築 2. 医療水準の把握と改善に向けた取り組みの支援 3. 患者さんに最善の医療を提供するための政策提言などを目指して大型データベースの構築がなされており、今後種々の学会からの参加、また、がん登録などの既存のデータベースとの連携が考えられています。この中において現状、医局秘書の方々や診療情報管理士の方々が入力支援をされています。いかに効率的に診療情報として蓄積されている電子カルテから情報を迅速かつ適切に収集し、登録を行うかが現場の課題になっております。現状における核、電子カルテベンダーの取り組みの状況ならびにシステム構築に携わってこられました九州大学の水元一博先生にご講演いただき、現状、現場でどのようなことが未解決の課題として存在しているのかそれらに対する解決策について議論できればと考えております。

内容と講師陣は下記を予定しています。

9:30- セミナー会場 会場・受付開始

9:45-9:50 セミナー挨拶 （合地・岡山大学）

9:50-10:00 企画説明：NCD (national clinical database) とは？  
(岡山大・合地 明)

10:00-11:00 ベンダーによる事例紹介  
富士通 Yahgee IBM NEC を予定

11:00-11:10 休憩

11:10-12:30 講演『九州大学における NCD 登録の現状と展望』  
九州大学 がんセンター  
センター長 水元 一博 先生

12:30-13:00 総合討論

13:00 閉会

【申込方法】

氏名・所属・Email アドレスを明記し、下記担当宛に電子メールでお申し込みください。

◇事務局

Email : gouchi-a@cc.okayama-u.ac.jp

担当 : 合地・郷原・森永 (岡山大学病院 医療情報部)

TEL : 086-235-7976 FAX : 086-235-7976

ご質問等ございましたら、上記担当までお問い合わせください。

セミナー参加申し込み

お名前 :

ご所属 :

職種 :

e-mail :

医療情報技師資格 :

有 ・ 無 (一方を残してください)

平素より大変お世話になっております。

医療情報学会中国四国支部事務局よりご案内申し上げます。

日本医療情報学会中国四国支部では、2月28日(土)、高知大学医学部看護学科情報処理実習室(看護学科棟2階)にて第15回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを開催いたします。

以下の通りご案内申し上げますので、奮ってご参加ください。皆様のご参加をお待ちしています。

## 記

※申込先は最後に記載しております。

### 【日時】

平成27年2月28日(土)

12:30 受付開始、13:00 セミナー開始、18:00 終了(予定)

会場入口の自動ドアは12:30から13:30の間のみ入棟可能となります。

13:30以降は入棟できませんのでご注意ください。

### 【開催場所】

高知大学医学部看護学科棟2階情報処理実習室

高知県南国市岡豊町小蓮

[http://www.kochi-u.ac.jp/outline/campus\\_map\\_okou.html](http://www.kochi-u.ac.jp/outline/campus_map_okou.html)

### 【アクセス】

[https://www.kochi-ms.ac.jp/html/medical\\_9.html](https://www.kochi-ms.ac.jp/html/medical_9.html)

車で来場される方は、外来駐車場に駐車してください。

### 【参加費】

無料 (要申込、定員40名を超えた場合は締切といたします。)

### 【ノートパソコンの持参】

パソコンによる演習を含むため、基本的に、各自無線LANに接続できるノート型パソコン(OSはWindows Vista以降)を持参していただきます。Macの場合は、Windowsモードが使えることが条件です。ノート型パソコンを持参できない場合は、こちらでWindowsパソコンを用意しますが、Windowsの基本操作に習熟していることが条件となります。

## 【ポイント】

日本医療情報学会医療情報技師ポイントを、4ポイント付与の予定（申請中）。

（医療情報技師以外の方も歓迎です。）

## 【申込締切】

2月25日（水）

※申込方法は、最後に記載するのでご確認ください。

## 【プログラム構成】

テーマ『統計解析の基礎と実践』（パソコンを使った演習を含む）

## 趣旨と目的

現在、多くの病院で電子カルテ・オーダーエントリーシステム・各種検査画像システム等が導入され、大量の情報が電子化された状態で蓄積・利用されています。これらの診療情報については、診療・医事といった一次利用だけでなく、病院経営・研究といった二次的な利活用も求められるようになってきました。

このため、医療情報技師に対しても、従来から求められていた医療情報システムの開発・運営・保守に貢献するという役割だけではなく、医療情報システムに蓄積されたデータを分析して医療機関の運営管理に役立てたり、医学研究に活用したりするといった役割も期待されるようになってきています。

そのようなデータを分析・評価するためのツールとして、統計学的手法はきわめて重要です。学術研究はもちろんのこと、EBM、治験、病院経営、医療安全管理などさまざまな分析に深く関わっています。また、データマイニングやビッグデータの解析、ビジネスインテリジェンスなどをきちんと理解するうえでも、統計学の基礎的知識が必須です。

このように重要な手法である統計解析ですが、一見敷居が高そうであり、苦手意識を持つ人も少なくありません。

このため、本企画では、統計解析の初歩的な基礎理論の説明に続いて、いくつかの例題を実際に統計解析ソフトを使って解いてみるという、講義と演習からなるセミナーを実施し、今後学習を深めたり、業務や研究への応用を始めるきっかけになることを目指します。

## 内容

前半約2時間で、「推測統計とは」、「母集団と標本」「確率の初歩」、「確率密度分布」、「信頼区間」、「検定の考え方」、「初歩的な検定方法」などのテーマにつき講義を行い、後半約3時間では、統計解析・データ解析のための高度な機能を備えたフリーソフト「R」と、Rを簡単に操作するためのGUIパッケージ「Rコマンダー」をインストールしてもらい、「統計解析ソフトRとRコマンダーのインストール」、「RコマンダーによるRの操作」、「Rコマンダーを使った例題の統計解析」な

どの実践的演習を行います。

後半の演習のために各自のノートパソコンを持参していただき、RとRコマンドーのモジュールを配布してインストールしてもらいます。また、例題のためのデータも配布し、RとRコマンドーを使った統計解析の方法について講師にならって操作してもらった後、独力でいくつかの例題を解析してもらいます。

内容と講師陣は下記を予定しています。

12:30- セミナー会場 会場・受付開始

13:00-13:05 セミナー挨拶 (高知大学・奥原義保)

#### 講義

13:05-15:00 「統計解析の基礎」(高知大学・奥原義保)

- ・ 記述統計と推測統計
- ・ 推測統計における母集団と標本
- ・ 確率
- ・ 確率密度分布
- ・ 推定
- ・ 検定

休憩 (10 分間)

演習 (インストラクターとティーチングアシスタント 3 名による)

15:10-15:30 「RとRコマンドーのインストール」

(インストラクター: 片岡浩巳・高知大学)

15:30-18:00 (途中で1回休憩)

「Rコマンドーの基本とRコマンドーによる統計解析」

(インストラクター: 畠山 豊・高知大学)

- ・ 代表値と分布の可視化
- ・ 平均値の推測と検定 (1 標本)
- ・ 割合の推測と検定 (1 標本)
- ・ 平均値の差の検定 (独立な 2 標本: 正規分布)
- ・ 平均値の差の検定 (対応のある 2 標本: 正規分布)
- ・ ノンパラメトリック検定
- ・ 割合の差の検定 (2 標本)
- ・ 分割表の検定

【申込方法】

氏名・所属・Emailアドレスを明記し、下記担当宛に電子メールでお申し込みください。

◇事務局

Email : [medinfo@kochi-u.ac.jp](mailto:medinfo@kochi-u.ac.jp)

担 当 : 片岡浩巳 (高知大学医学部附属医学情報センター)

TEL : 088-880-2212 FAX : 088-880-2214

ご質問等ございましたら、上記担当までお問い合わせください。

セミナー参加

お名前 :

ご所属 :

職種 :

e-mail :

医療情報技師資格 : 有 ・ 無 (一方を残してください)

以上

## 第16回日本医療情報学会中国四国支部セミナーのご案内

【日 時】平成27年10月17日（土）13：00～17：00

【場 所】岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）301会議室

<http://www.mamakari.net>

### 【内 容】

テーマ：日本における代表的な診療情報データベースを理解し、施設における標準化・レジストリを進めよう！

### 【概 要】

本セミナーでは、日常診療の結果として生じる診療報酬請求（レセプト）とその全国データベース、および、院内がんを初めとする各種疾患のレジストリについての認識を深め、および、その際的前提となる標準化の必要性を理解することを主題としました。

政府のIT戦略の中でも重要課題となっているレセプト情報を匿名化し二次利用は、すでに地域医療計画や各種の公衆衛生学的指標の推定に使われています。今後も各施設での診療情報をいわゆる大規模データベースとして収集することでいろいろな活用が期待されています。

その代表として日本全国の医療機関から収集したレセプトデータと特定健診・特定保健指導データを集約した「National Database (NDB)」と全国の入院患者におけるDPC(Diagnostic Procedure Complex: 包括評価)データを収集しデータベースが一定の手続きで活用可能となっております。それらデータベースの保有するデータ内容を理解するとともに、それらの情報を用いた解析例の紹介を通して、その有用性や活用性を理解していただきます。

また、現在、多くの臨床データベースの構築が進められています。これらの全国規模のデータベースは、施設毎に用いるデータ交換方法や用語やコード体系が違っていると、それらを補正することが必要となり、データベースが有効に活用されるためには標準化を進めることが今後の重要な課題です。今後の医療データベースの発展に向けて各施設が備えるために、それら標準化の目的と現況についての理解を深める機会にしたいと考えています。

### 【スケジュール】

受付開始：13：00～

セミナー開始：13：25

第1部：日本における代表的な診療情報データベースを理解しよう

1) 13:30~14:15

レセプト情報等データベース (NDB: National Database) の利活用: 研究の具体例と利用申請の  
実際

厚生労働省 保険局 吉村健佑

2) 14:15~15:00

DPC とは? DPC データとは? 医療の質改善に活かすには?

山口大学医学部附属病院 猪飼 宏

休憩

15:00~15:15

第2部: 施設での活用事例と今後の方向性を知っところ

3) 15:15~16:00

診療情報データベースによる情報の施設における活用

山口県病院機構 佐藤和孝

4) 16:00~16:45

臨床データベース/レジストリの現状と標準化に向けた課題

川崎医療福祉大学 岡田美保子

5) 16:45~17:00

全体討論・まとめ

【医療情報技師ポイント】4点

【申込方法】

氏名・所属・Email アドレス・電話番号を明記し、下記事務局宛に電子メールでお申し込みください。

\*\*\*\*\*

セミナー参加申し込み

お名前:

ご所属:

職種:

e-mail:

医療情報技師資格:

有 ・ 無 (一方を残してください)

\*\*\*\*\*

【定員】80名

申し込み順に定員になり次第、締め切らせていただきます。

◇事務局

Email : [mids9@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:mids9@yamaguchi-u.ac.jp)

担当 : 近藤・河村 (山口大学医学部附属病院 医療情報部)

TEL : 0836-22-2716 FAX : 0836-22-2718

ご質問等ございましたら、上記までお問い合わせください。

日本医療情報学会  
会 員 各 位

日本医療情報学会中国四国支部  
(共催：JAMI 課題研究会 患者プロフィール情報基盤研究会)

### 第 17 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー 開催のご案内

下記の日時に開催いたします第 17 回日本医療情報学会中国四国支部セミナーについて、以下、プログラムの詳細をご案内いたします。なお、本課題研究会は、25 日から 26 日にかけて開催される「第 36 回中国四国医療情報学研究会」に続いて開催されますので、こちらの研究会の参加の方もご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 【テーマ】

患者プロフィールを考えるⅢ～使える患者プロフィールにするために～

#### 【日 時】

平成 28 年 3 月 26 日(土)

13：00 受付開始、13：30 セミナー開始、16：30 終了（予定）

#### 【開催場所】

サンポートホール高松

香川県高松市サンポート 2-1 087-825-5000

<http://www.sunport-hall.jp/access/>

JR 高松駅から徒歩 2 分の公共交通機関が便利な場所です。

#### 【参加費】

無料（要申込。定員 45 名を超えた場合は締切といたします。）

#### 【ポイント】

日本医療情報学会医療情報技師ポイントを、4 ポイント付与。

（医療情報技師以外の方も歓迎です。）

#### 【申込締切】

3 月 22 日（火） ※申込方法は、本メールの最後に記載するのでご確認ください。

#### 【セミナー主旨】

現在、医療の質をあげるために、診療録や退院時要約等の量的監査から質的監査へのシフトや、地域医療連携におけるデータ共有のありかたについて見直しが進められています。

医療情報学会課題研究会「患者プロフィール情報基盤研究会」では、共有すべき基本的な患者に関する医療情報を患者プロフィールとして整理し、各地域で整備されつつある医療情報ネットワークにおいて、患者プロフィールを共有、相互に交換できるようにすることが、いつでもどこでも本質的な医療情報を参照可能にし、患者へ提供できる医療の質が向上することにつながることを期待として活動を進めて参りました。本年度が本課題研究会の最終年度であります。これまでの活動の総括と今後の課題について整理し、診療情報の管理者がどのように診療情報の内容に関わっていくべきかを論じていきます。

本セミナーの参加者は、患者プロフィールに求められている要件を理解することにより、診療録や退院時要約の質的監査の時に、どこを重点的にみていけばよいか理解できるようになります。また、院内の情報共有や地域医療連携のために電子カルテにどのようなデータ項目を設け、共有やデータ入力の推進を推し進めていくべきかのビジョンを作成することができるようになります。

#### 【プログラム構成】

確定次第、続報をお送りいたします。以下、現在予定しているプログラム（案）です。

- 13:00- セミナー会場 開場・受付開始
- 13:30-13:35 セミナー挨拶（栗原・高知大学）

#### § 第一部 患者プロフィールの現状

- 13:35-14:05 情報項目の施設間格差に関する全国調査の報告（栗原幸男・高知大学）
- 14:05-14:25 情報項目の登録率・中四国の大学附属病院調査報告（中島典昭・高知大学）
- 14:25-14:35 休憩

#### § 第二部 患者プロフィールの実用性を高めるために

- 14:35-15:15 患者プロフィールの実運用に向けた取り組みの検討（グループワーク）
- 15:15-15:35 患者基本プロフィール向けの用語集の検討（木村映善・愛媛大学）
- 15:35-16:15 地域医療連携における取り組み（合地明・岡山大学）
- 16:15-16:25 グループワークに関する集計、統括
- 16:25-16:30 閉会の辞

#### 【申込方法】

氏名・所属・電話番号・Email アドレスを明記し、下記担当宛にメールでお申し込みください。

◇事務局

E-mail : [chushi-medinfo@gc.m.ehime-u.ac.jp](mailto:chushi-medinfo@gc.m.ehime-u.ac.jp)

担当：蒲生祥子（愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学講座）

tel / fax : 089-960-5695 / 089-960-5696

ご質問等ございましたら、上記担当までお問い合わせください。

日本医療情報学会  
会員各位

日本医療情報学会中国四国支部  
支部会長 近藤 博史

第18回医療情報学会中国四国支部セミナー  
「HPKI 電子署名付き電子紹介状システム構築セミナー」

H28年度の診療報酬改正で注目を浴びる「HPKI 電子署名付き電子紹介状システム」ですが、実際に稼働しているところは少ないようです。今回は電子署名の部分を担当されたテクノロジー、当初より運営されている島根県「まめネット」、H28年6月から運用開始された「キビタンネット」、これから導入される「おしどりネット」の担当者の方々にキーポイントをお聞きしたいと考えています。

続いて、10月15日（土）16日（日）に第20回日本遠隔医療学会を同会場で開催します。地域医療連携、在宅医療、介護ネットワークの発表、企業展示などあります。あわせてご参加をご検討いただきますようお願い申し上げます。（<http://jtta2016.umin.ne.jp/>）

記

【日時】：平成28年10月14日（金）13時半～17時

【場所】：米子コンベンションセンター 第7会議室 (<http://www.bigship.or.jp/>)

医療情報技師ポイント：3ポイント（申請中）

【受付・開場：13時から受付可】

プログラム：

- 1) 13:30-13:40 はじめに  
近藤博史・鳥取大学医学部附属病院医療情報部
- 2) 13:40-14:30 「HPKI を利用した電子署名と実装に必要な要件」  
瀧 勝也・株式会社テクノロジー
- 3) 14:30-15:15 「まめネット」における導入と現状  
・株式会社テクノプロジェクト
- 4) 15:15-16:00 「キビタンネット」における導入と現状  
柴田真吾・キビタンネット（アドバイザー）
- 5) 16:00-16:40 「おしどりネット」におけるシステム構築  
持田真樹・セコム山陰
- 6) 16:40-17:00 全体質問、まとめ

【申込方法】参加をご希望の方は、氏名・所属・電話番号・Email アドレス・医療情報技師番号（ポイント取得希望）を明記し、10月7日までに下記担当宛にメールでお申し込みください。

事務局：鳥取大学医学部附属病院医療情報部

メール：segawa\_asako@med.tottori-u.ac.jp

電話：0859-38-7842

第20回日本遠隔医療学会を10月15日（土）16日（日）に同会場で開催します。

こちらをあわせてご参加をご検討いただきますようお願い申し上げます。

(<http://jtta2016.umin.ne.jp/>)

以上

平成 29 年 1 月吉日

日本医療情報学会  
会 員 各 位

日本医療情報学会中国四国支部

## 第 19 回医療情報学会中国四国支部セミナー 開催のご案内

治験・臨床研究と医療情報システム～最近の話題より～

大寒の候、皆様におかれましてはご壮健にてお過ごしのことと存じます。

さて来る 2 月 18 日、高松市におきまして第 19 回医療情報学会中国四国支部セミナーを開催致します。

「治験・臨床研究と医療情報システム」については過去に香川大学が開催したセミナーでも触れていますが、この数年間で大きな変化がありました。そこで、香川大学とシステムを共同開発したチームからそれぞれの専門家を講師としてお招きし、最近の話題を中心に構成していきます。

後半は「グループワーク マスタ管理」について、厚労省の副作用解析用のデータ統合システム MID-NET の経験に基づき、今後必要となるマスタ管理の方法論について議論をしていきます。

皆様、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

【日 時】平成 29 年 2 月 18 日(土) 13:30～17:00 (13:00 受付開始)

【場 所】サンポートホール高松 62 会議室 (香川県高松市サンポート 2-1)

<http://www.sunport-hall.jp/>

【申込方法】参加費は無料です。

氏名・所属・電話番号・E-mail アドレス・医療情報技師番号 (ポイント取得希望) を明記し、**2 月 14 日まで**に下記担当宛にメールでお申し込みください。

なお定員 (45 名) になり次第締め切りと致します。

医療情報技師ポイント 3 または 4 ポイント付与予定 (申請中)

事務局 / 香川大学医学部附属病院医療情報部 E-mail : [medinfoe@med.kagawa-u.ac.jp](mailto:medinfoe@med.kagawa-u.ac.jp)

### 【プログラム】

<治験・臨床研究と医療情報システム ～最新の話より～> 13:40～15:20

- 医療情報と医薬品開発との連携 茅原 太一 氏 (富士通株式会社)
- CSV (Computer System Validation) の実際 講師未定
- CDISC (Overview と CT(Controlled Terminology)管理) 海老 邦仁 氏 (富士通株式会社)
- 地域医療連携システムを用いた RSDV (Remote Source Data Verification) について 横井 英人 (香川大学)

<グループワーク マスタ管理～> 15:30～17:00

- マスタ管理の重要性 (総論) 横井 英人 (香川大学)
- 各施設・各分野のマスタ管理上の問題点 (グループ討論約 30 分 発表約 30 分)
- まとめ

以上

2018年1月吉日

各位

山口大学医学部附属病院  
医療情報部 石田 博

第21回日本医療情報学会中国四国支部セミナー開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第21回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。奮ってご参加ください。

記

日 時：2018年3月24日（土） 午前10時～13時00分（受付開始：9時40分）

会 場：サンピーチ OKAYAMA ピーチホール(岡山駅 後楽園口(東口) 歩5分)

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-3-31 Tel: 086-225-0631

<http://www.sunpeach.jp/>

参加費：無料

医療情報技師ポイント：3ポイント（申請中）

テーマ：

「医療の質・経営の質の可視化と改善に向けた病院情報システムの利活用を進めよう」

趣 旨：

医療機関では、患者さんの病状に応じた標準的な治療を滞りなく進めることで、質の高い医療を求める患者・家族・市民の期待に応えることができます。また、それぞれの医療機関が持つ病床や病院機能を有効に活用しつつ、地域内外にある他の医療機関と連携して治療にあたることで、地域の医療ニーズに的確かつ効率的に応えることができます。

したがって、各医療機関の医療の質・経営の質を高める上では「標準的な治療を滞りなく進めているか」「自施設の医療機能を有効に活用できているか」「地域の中で連携や差別化ができていないか」など、複数の視点から客観的に評価することが必要です。

病院情報システムや医事会計システムでは病名・検査・処方・画像などの診療情報や医事レセプト情報が電子的に蓄積され、またDPC制度や地域医療構想を通じて地域医療の実情を表すデータも公開が進む中、日常診療や請求業務だけでなく医療の質・経営の質を改善するために院内情報を活用する動きがますます盛んになっています。

そこで今回のセミナーでは、(1)医療の質・経営の質の様々な分析、(2)他施設との比較や時系列での評価を通じた自院の状況の考察、(3)病院の経営陣や病院のスタッフへの発信、(4)診療改善の効果判定と次なる課題の発掘、といったPDCAサイクルに医療情報部門が果たす役割について事例を中心に学び、考えて参りたいと思います。

プログラム：

10:00~10:05 開会あいさつ

10:05~10:45 基調講演

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 講師 国澤 進 先生

「医療の質・経営の質と考え方と DPC データの活用」

10:45~11:30 事例紹介 1 病院での取り組み

山口大学 医学部附属病院 医療情報部 檜部 公一 / 猪飼 宏

「山口大学病院におけるデータ分析と活用に向けた組織作り」

水島協同病院 医療情報管理課 三浦 直美 様

「周術期抗菌薬投与タイミングの最適化に向けた取り組み」

(休憩 10 分)

11:40~12:20 事例紹介 2 ベンダーシステムを用いた分析・改善事例

株式会社医用工学研究所 (講師未定)

「医療データウェアハウス CLISTA!®を用いた改善事例の紹介」

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 (講師未定)

「病院情報分析基盤 MEDI-ARROWS®を用いた改善事例の紹介」

12:20~12:50 グループ検討

評価指標の算出に必要なデータソースと分析手順のシミュレーション

12:50~13:00 総合討議・Q & A

定 員：60 名 (申込者数が定員を超えた場合のみ連絡いたします)

参加申込方法：

下記リンクより氏名・所属・電話番号・Email アドレス等を入力してお申し込みください。

<https://tinyurl.com/chushi21>

(申し込み締切り日：3月16日(金))

事務局：山口大学医学部附属病院 医療情報部 (担当：上田・近藤)

Email：mids9[AT]yamaguchi-u.ac.jp ([AT]を@に置き換えて下さい)

Tel: 0836-22-2716 Fax: 0836-22-2718

協賛(順不同)：株式会社医用工学研究所 ニッセイ情報テクノロジー株式会社

以上

各位

岡山大学病院 医療情報部

郷原 英夫

第22回日本医療情報学会中国四国支部セミナー開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第22回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。奮ってご参加ください。

記

日 時：2018年7月28日（土）9：30～12：30（受付開始9：10）

会 場：岡山大学鹿田キャンパス 臨床講義棟 2F 臨床第2講義室

参加費：無 料

医療情報技師ポイント：4ポイント

テーマ：DICOMによる画像情報の保管と被曝情報管理

趣旨：医療情報には情報交換規格であるHL7と画像を管理する規格のDICOMがあります。それぞれの病院における役割があり、どちらも大切な医療情報です。その役割を理解しておくことが必要です。また近年ベンダーニュートラルアーカイブ（VNA）というDICOM情報の保管方法も普及しつつあります。

今回のセミナーではHL7とDICOMの役割分担を概説したのち、（1）DICOMの基礎と臨床、（2）VNAの概要と可能性、（3）DICOMと被曝情報管理について最新のトピックを理解することを目的としています。

プログラム：

9:30～9:35 開会あいさつ

9:35～9:50 概要の解説

岡山大学病院 医療情報部長 郷原 英夫

「HL7とDICOM」

9:50～10:40 講演1

京都大学医学部附属病院 放射線診断科/先制医療習慣病研究センター

特定助教 八上 全弘

「DICOMの基礎と臨床（仮題）」

（休憩10分）

10:50～11:50 講演2

富士フイルムメディカル株式会社 ITソリューション事業本部 森 修倫  
「VNAの概要と可能性」

11:50～12:20 講演3

岡山大学病院 放射線部副技師長 赤木 憲明  
「被爆情報管理とDICOM（仮題）」

12:20～12:30 総合討議・質疑応答

定員：60名（申込者数が定員を超えた場合のみ連絡いたします）

参加申込方法：下記リンクより氏名・所属・電話番号・Email アドレス等を入力してお申し込みください。

<https://tinyurl.com/chushi22>

（申し込み締切り日：7月18日（水））

事務局：岡山大学病院 医療情報部（担当：郷原・黄）

Email：medinfo2017@okayama-u.ac.jp

Tel：086-235-7010

## アクセス情報



アクセス：岡山駅からバスでお越しの方

岡山駅東口バスターミナル4番乗り場から「大学病院」行きで10分  
車でお越しの方

病院敷地駐車場をご利用可能です

なお、お車でのお越しの方には駐車券をご用意しております。

平成 30 年 9 月 20 日

各 位

愛媛大学医学部附属病院 医療情報部  
石原 謙

第 23 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第 23 回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様、奮ってご参加ください。

記

**【テーマ】今、医療情報担当者に必要な知識とノウハウ**

**【日 時】** 2018 年 10 月 28 日（日） 13 時 30 分 ～ 17 時 00 分（受付開始：13 時 00 分）

**【会 場】** えひめ共済会館 4 階 豊明 愛媛県松山市三番町 5 丁目 13 - 1  
<http://www.ehime-kyosai.jp/kaikan/guide/index.html>

**【プログラム（予定。変更の可能性あり）】**

- 13：00-13：30 セミナー会場 開場・受付開始  
13：30-13：35 開会あいさつ  
13：35-15：35 「医療情報技師がおさえておくべき標準医療情報規格とガイドライン群」  
木村映善 厚生労働省 国立保健医療科学院 統括研究官  
(休憩 10分)  
15：45-16：45 「情報システム導入と更新に際して管理者が考慮すべき仕様や契約のノウハウ」  
石原 謙 愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学 教授  
16：50-17：00 総合討議・質疑応答

※上記に加え、企業によるセッションを入れる予定です。現在調整中。

**【参加費】** 無料（要申込。定員：100 名を超えた場合のみ連絡致します）

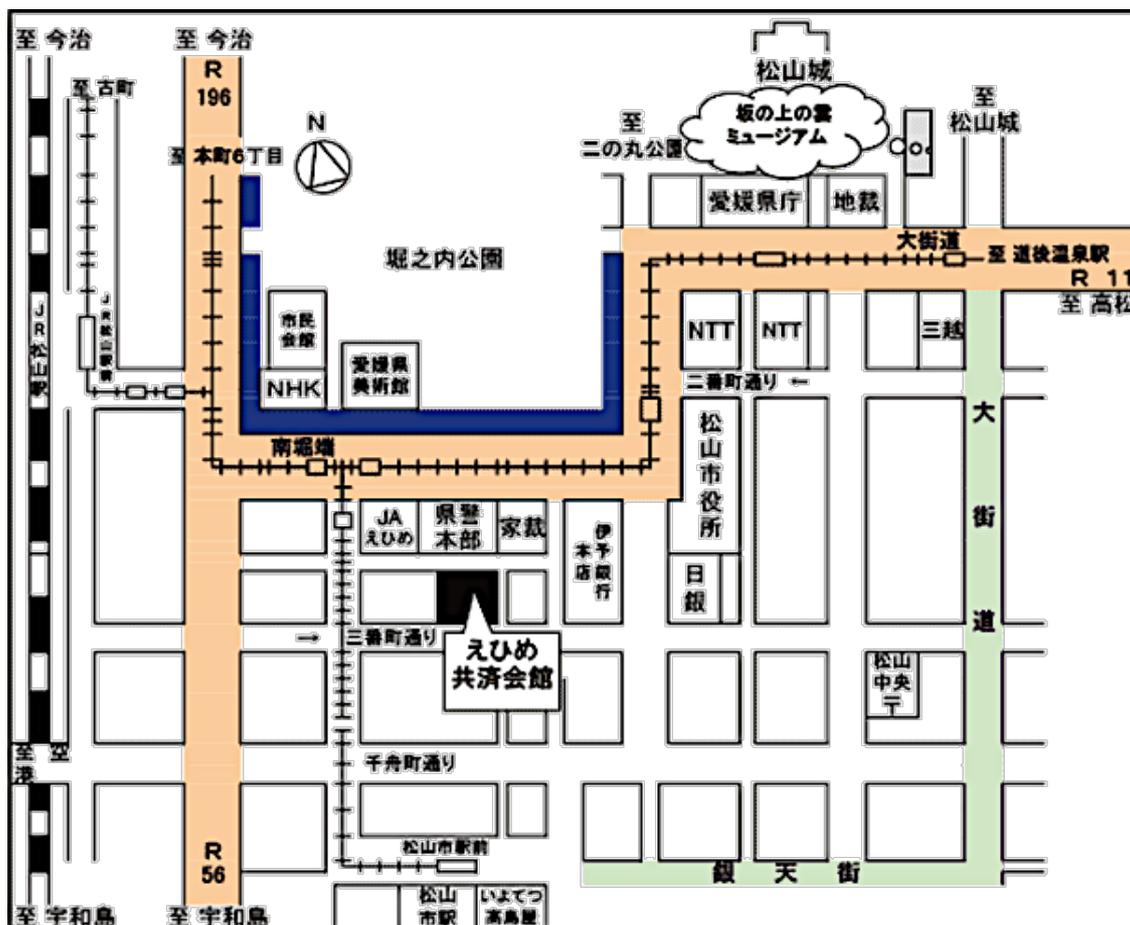
**【ポイント】** 医療情報技師ポイント：4 ポイント付与  
（医療情報技師以外の医師、看護師、事務、行政担当、などの方々も歓迎です）

**【申込締切】** 10 月 22 日（月）

**【申込方法】**

参加をご希望の方は、氏名・ご所属・電話番号・Email アドレス・医療情報技師番号（ポイント取得希望）を明記し、10 月 22 日までに下記事務局宛（[chushi-medinfo@m.ehime-u.ac.jp](mailto:chushi-medinfo@m.ehime-u.ac.jp)）にメールでお申し込みください。

## 会場案内



### 主要駅、空港、港、インターチェンジからの所要時間

- イヨテツ 松山市駅から徒歩 5 分
- JR 松山駅から路面電車(1 番環状線又は 5 番JR松山駅前線)で 7 分、南堀端下車徒歩 3 分  
JR 松山駅からは 徒歩だけなら 18 分
- 松山空港からタクシーで 15 分
- 松山観光港からタクシーで 30 分

セミナー担当事務局

愛媛大学医学部附属病院医療情報部 (担当: 西尾)

Email : [chushi-medinfo@m.ehime-u.ac.jp](mailto:chushi-medinfo@m.ehime-u.ac.jp)

TeL : 089 - 960 - 5695

各位

香川大学医学部附属病院 医療情報部

横井 英人

第24回日本医療情報学会中国四国支部セミナー開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第24回日本医療情報学会中国四国支部セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。奮ってご参加ください。

記

日 時：2019年6月22日（土）13：30～16：30（受付開始13：00）

会 場：サンポート高松 54 会議室（〒760-0019 高松市サンポート 2-1 JR 高松駅前）

参加費：無 料

定 員：80名（申込者数が定員を超えた場合のみ連絡いたします）

申込方法：氏名・所属・電話番号・E-mail アドレス・医療情報技師番号（ポイント取得希望）を明記し、6月14日までに下記担当宛にメールでお申し込みください。

なお定員（80名）になり次第締め切りと致します。

事務局/香川大学医学部附属病院医療情報部 E-mail：medinfoe@med.kagawa-u.ac.jp

医療情報技師ポイント：申請中

テーマ：臨床研究とコンピュータ

趣旨：近年、医療情報システムに保存された大量のデータを臨床研究に用いる事例が多く見られています。それらの事例を通じ、多施設の研究がなされ、データの二次利用のしかたが徐々に定型化されています。今回は、臨床研究の基礎的な解説から、治験で要求されるコンピュータ化システムバリデーションとはどういう物を改めて検討しつつ、有用なシステムの扱い方を具体的に探っていきます。

プログラム：

13:30～14:20 講演1

香川大学医学部附属病院 臨床研究支援センター 國方 淳  
「臨床研究とは」

(休憩10分)

14:30～15:20 講演2

香川大学医学部附属病院 医療情報部 谷川 雅俊  
「電子カルテに対するコンピュータ化システムバリデーション (CSV) の考え方」

(休憩10分)

15:30～16:30 講演3 (総合討論含む)

香川大学医学部附属病院 医療情報部・臨床研究支援センター 横井 英人  
「臨床研究に電子カルテデータを用いる手法について」

以上

令和元年 10 月吉日

各 位

高知大学医学部  
附属医学情報センター  
奥原 義保

第 25 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第 25 回日本医療情報学会中国四国セミナーについて、下記のとおりご案内申し上げます。

多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：令和元年 12 月 14 日（土）13：30～16：30 ※受付 13：00～

場 所：高知市文化プラザかるぽーと 9 階 特別学習室

<http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html>

※地下駐車場有料（30 分ごと 150 円）です。

参加費：無料

その他：医療情報技師ポイント（4 ポイント）付与

申込方法：最終頁の【入力フォーム】に必要事項を入力の上、事務局アドレス

([medinfo@kochi-u.ac.jp](mailto:medinfo@kochi-u.ac.jp))宛に、メールにてお申し込みください。

【 締め切り日：令和元年 11 月 15 日（金） 】

（注 1）定員（30 名）になり次第、受付を終了させていただきます。

（注 2）受付が完了しましたら、その旨、メールにてご連絡いたします。

お申し込みから 1 週間以内に受付完了のメールが届かない場合は、  
お手数ですが、電話にて事務局宛お問い合わせ願います。

《 注意事項 》当日は、医療情報技師認定証（カード）をお持ちください。

～ テーマ ～

「実際に自分で動かせる」データ解析基盤を作るにはどうすれば良いか

～ 趣旨 ～

近年、2次利用を目的としたデータウェアハウスを導入している病院施設が増加していますが、ユーザの環境やデータ収集の仕方によっては、間違った解析になってしまうこともあります。

そこで、ビッグデータを解析する際に必要なノウハウ提示（講演1）や実際の運用状況紹介（講演2・3）を通して、データ解析基盤運用についての理解を深めたいと思います。

～ プログラム ～

13：30～13：35 開会の挨拶

13：35～15：05 講演1「ビッグデータ解析のノウハウ」

川崎医療福祉大学 医療技術学部 片岡 浩巳

(10分休憩)

15：15～15：50 講演2「高知大学医学部におけるデータ解析基盤構築について」

高知大学医学部 附属医学情報センター 畠山 豊

(10分休憩)

16：00～16：30 講演3「医学部学生を対象とした匿名化データ解析基盤について」

高知大学医学部 附属医学情報センター 兵頭 勇己

件 名：【参加申込み】第 25 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー

宛 先：medinfo@kochi-u.ac.jp

※お一人ずつでお申込みください。

----- 【 入力フォーム 】 -----

所 属：

氏 名（ふりがな）：

区 分：（日本医療情報学会）会員 ・ 非会員

医療情報技師資格有無： 有（医療情報技師認定証番号： ※8桁） ・ 無

伝達事項：

----- ここまで -----

ご質問等ございましたら、お手数ですが、担当までご連絡ください。

**【第 25 回日本医療情報学会中国四国支部セミナー事務局】**

（高知大学医学部 附属医学情報センター）

担当：兵頭 勇己

TEL：088-880-2212・FAX：088-880-2214

e-mail：medinfo@kochi-u.ac.jp